

大麦の生育は、平年より1日程度早く、止葉展開期は4月4日頃、出穂期は4月15日頃と見込まれます。

赤かび病防除は、大麦の出穂状況を確認し、適期防除に努めてください。

【出穂期の目安（10月上中旬播種）】

平坦地域：4月15日頃 中間地域：4月18日頃

【防除の目安】

防除月日		農薬名	10a当たり散布量
平坦地域	1回目（穂揃期） 4月18日頃	トップジンM ゾル	ドローン：8倍（0.8ℓ） 乗用管理機：1500倍（150ℓ）
	2回目（1回目の7日後） 4月25日頃	ワークアップ フロアブル	ドローン：10～16倍（0.8ℓ） 乗用管理機：2000倍（150ℓ）
中間地域	1回目（穂揃期） 4月21日頃	トップジンM ゾル	ドローン：8倍（0.8ℓ） 乗用管理機：1500倍（150ℓ）
	2回目（1回目の7日後） 4月28日頃	ワークアップ フロアブル	ドローン：10～16倍（0.8ℓ） 乗用管理機：2000倍（150ℓ）

※出穂期が早い場合、登熟期間が長くなり病害発生危険性が高まるので、適期の防除に努めてください。

【麦角病の対策】

- 麦角病が発生すると赤かび病と同様に抜取りや別扱いにする必要があります。
- 麦角病原菌は、畦畔のイネ科雑草等に潜んでいます。麦角病の発生を抑えるために畦畔の草刈りを徹底しましょう。



～カラスノエンドウの抜取りは早めに！～

- カラスノエンドウの種子が収穫物に混入する事例がみられています。収穫後の選別が極めて困難であることから、ほ場内で発見したら、速やかに抜き取りましょう。



カラスノエンドウの開花期

～止葉展開期の追肥は慎重に！～

- 分施栽培の場合、止葉展開期追肥を行いましょう。施用量等の詳細は営農指導員へお問合せください。
- ※基肥一発肥料（エコ大麦48号等）の場合、追肥の必要はありません。